



UEDA

市議会だより

平成23年1月1日号 No.26



地域主権とは、住民に最も身近な行政主体の市町村が住民と協働し、自らのことは自らで決定し、自治を行っていくことと考えます。税源移譲など財源の大きなフレームづくりは国・県に求めていくとともに、これからは市町村が自治力を高めていくことが大切であります。自治力を高めることは、市民、議会、行政の三者が、それぞれの役割を発揮し、連携しあいながらできることは地域からしていくことであると認識しています。

上田市議会では、昨年の選挙を経て新構成の中で特色ある特別委員会の活動、議会改革の推進など様々な取り組みを行っています。昨今、市長と議会の二元代表制のあり方が問われています。議会は市民代表として市民の皆様の声に真摯に耳を傾け集約し反映に努めるとともに、身近な議会となるべくさらなる議会情報の発信にも取り組んでまいります。今後とも皆様方のご協力のほどよろしくお願いいいたします。

とつて幸多き年となることを願い、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

昨年は、菅政権が発足し、所信表明演説の中で、地域主権改革の推進が「総論の段階」から「各論の段階」に進むときに入りまして、秋に行われた全国の首長アンケートでは地域主権改革の進展は「期待できない」が過半数を超える状況でした。また、県内では、阿部知事の誕生により、県民主権の長野県を目指す県政がスタートしましたが、具体的にはこれからに期待するところが大きいと理解しています。

モルヒネと地域からー

議長
南波清吾

皆様の傍聴をお待ちしています

わかりやすく開かれた議会を目指して、本会議及び委員会を公開しています。皆さんの代表である議員の活動や市政の方針、審議状況をどなたでも直接傍聴することができます。

傍聴は予約の必要はありません。傍聴希望日当日に本庁舎5階の議会事務局にお越しください。お名前などを記入いただく必要もなく手続きはとても簡単です。

本会議の傍聴は、議会事務局で
傍聴券を受け取った後は自由に
本会議場へ出入りできます。

平成 22 年は年間のべ 340 人余
の方が本会議を傍聴されました。

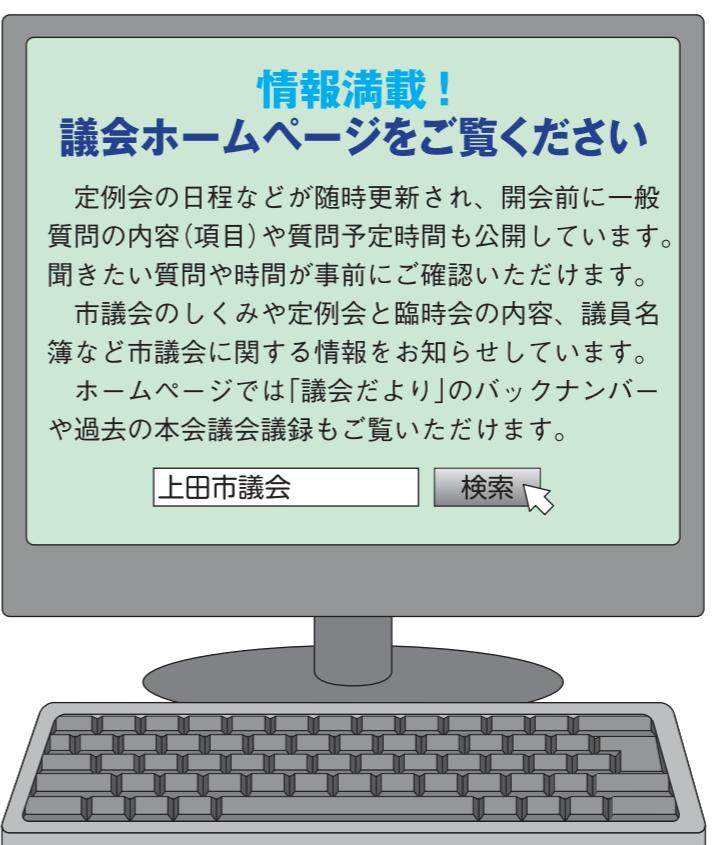


本会議を生中継しています

～上田ケーブルビジョン、丸子テレビ放送～

定例会本会議での市長提案説明、一般質問は、上田ケーブルビジョン、丸子テレビ放送のご協力により中継放映されています。また、同じ番組と委員長報告が後日録画放映されますので、ぜひ、ご覧ください。

本会議の日程や録画放送の日程は、定例会ごとに市議会ホームページでご案内しています。



平成23年1月1日発行
発行：上田市議会
〒386-8601 上田市大手一丁目11番16号
TEL.0268(22)0452 FAX.0268(23)5136
E-mail : gikai@city.ueda.nagano.jp
URL : <http://www.city.ueda.nagano.jp>
編集：議会広報特別委員会
委員長：土屋孝雄
副委員長：松山賢太郎
委員：池田総一郎
古市順子
半田介哉
井沢大章
三井信哉
印刷：田口印刷株式会社

重な対応が望れます。
さて、この議会だよりは、議員
改選後初めての新年号です。常任
委員会、特別委員会等の活動報告
を例年のように掲載しました。任
期2年目になりますので、ますま
す充実した委員会活動を行つてい
きます。
(古市 順子)

編集後記

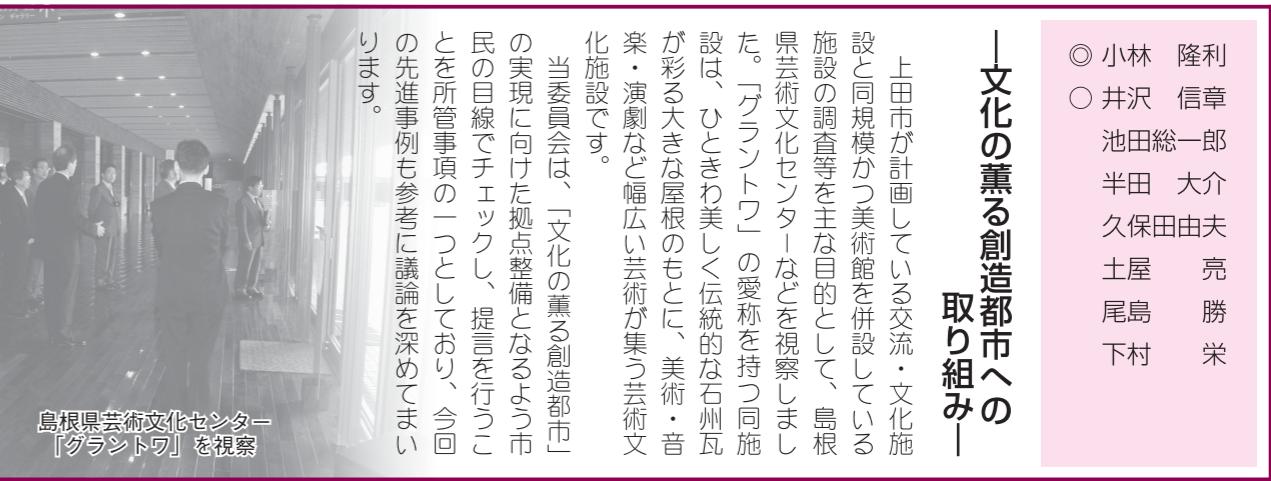
これまでの議会の各委員会の活動概要を次のページから紹介します。

—文化の薫る創造都市への 取組み

- ◎ 小林 隆利
○ 井沢 信章
　　池田総一郎
　　半田 大介
　　久保田由夫
　　土屋 亮
　　尾島 勝
　　下村 栄

上田市が計画している交流・文化施設と同規模かつ美術館を併設している施設の調査等を主な目的として、島根県芸術文化センターなどを視察しました。「グラントワ」の愛称を持つ同施設は、ひときわ美しく伝統的な石州瓦が彩る大きな屋根のもとに、美術・音楽・演劇など幅広い芸術が集う芸術文化施設です。

当委員会は、「文化の薫る創造都市」の実現に向けた拠点整備となるよう市民の目線でチェックし、提言を行つことを所管事項の一つとしており、今回先進事例も参考に議論を深めてまいります。



總務文教委員會

○ 土屋 孝雄
○ 松山賢太郎
池田総一郎
古市 順子
半田 大介
井沢 信章
三井 和哉

—より時代に即した 議会広報を目指して—

議会広報は、市民の皆様に議会の現況・動向を早くわかりやすく伝えることが最大の役割です。そしてそれには、興味を持たれる内容、スピード感で発信が求められます。

11月に視察を行い、先進地の実例を研修しました。鳥羽市では、地方議会で初めてツイッターによる情報発信を行った経過や手法とコーストリームによる動画サービスを利用した議会中継の実証実験について、また、豊田市では、読みやすい議会報づくりと発行の迅速化について学びました。

学んだ内容を活かし、今後もより親しまれる議会広報を目指して努力してまいります。

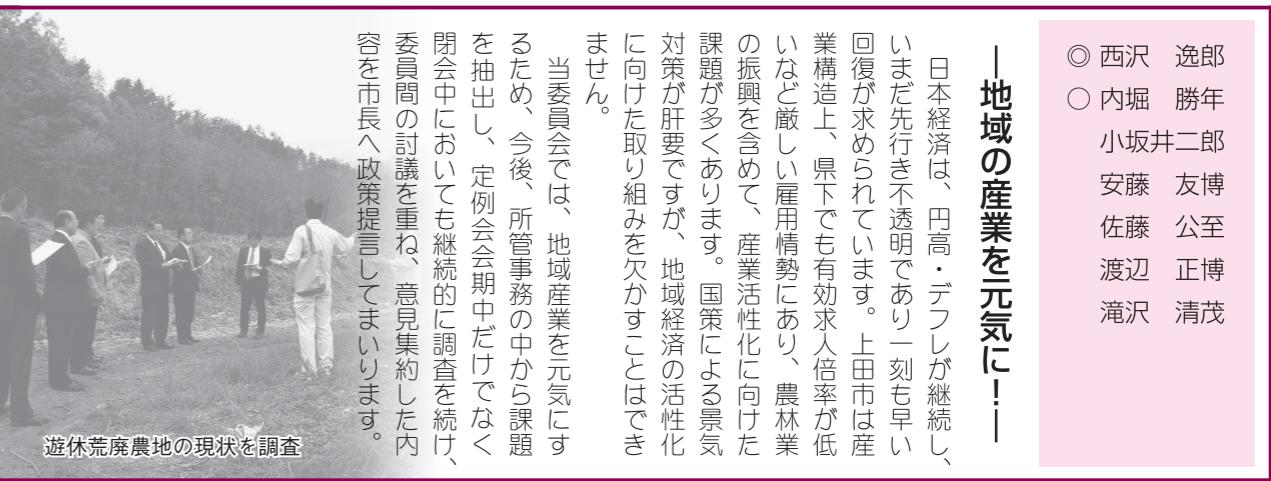
議会広報特別委員会

—地域の産業を元気に!—

- ◎ 西沢 逸郎
 - 内堀 勝年
 - 小坂井二郎
 - 安藤 友博
 - 佐藤 公至
 - 渡辺 正博
 - 滝沢 清茂

業構造上、県下でも有効求人倍率が低いなど厳しい雇用情勢にあり、農林業の振興を含めて、産業活性化に向けた課題が多くあります。国策による景気対策が肝要ですが、地域経済の活性化に向けた取り組みを欠かすことにはできません。

当委員会では、地域産業を元気にするため、今後、所管事務の中から課題を抽出し、定例会会期中だけでなく閉会中においても継続的に調査を続け、委員間の討議を重ね、意見集約した内閣の方針へ反映させることになります。



産業水道委員会

上田小県歯科医師会と懇談

地域医療再生事業は、国が経済危機対策の一環として、地域の医師確保等の地域医療の課題を解決するため、平成21年度補正予算に位置づけ交付する地域医療再生臨時特例交付金を原資に県が基金を設置し、平成21年度から25年度までの5年間、二次医療圏を単位に医療再生のための事業を実施するものです。上小地域は基金25億円を原資として事業を進めています。

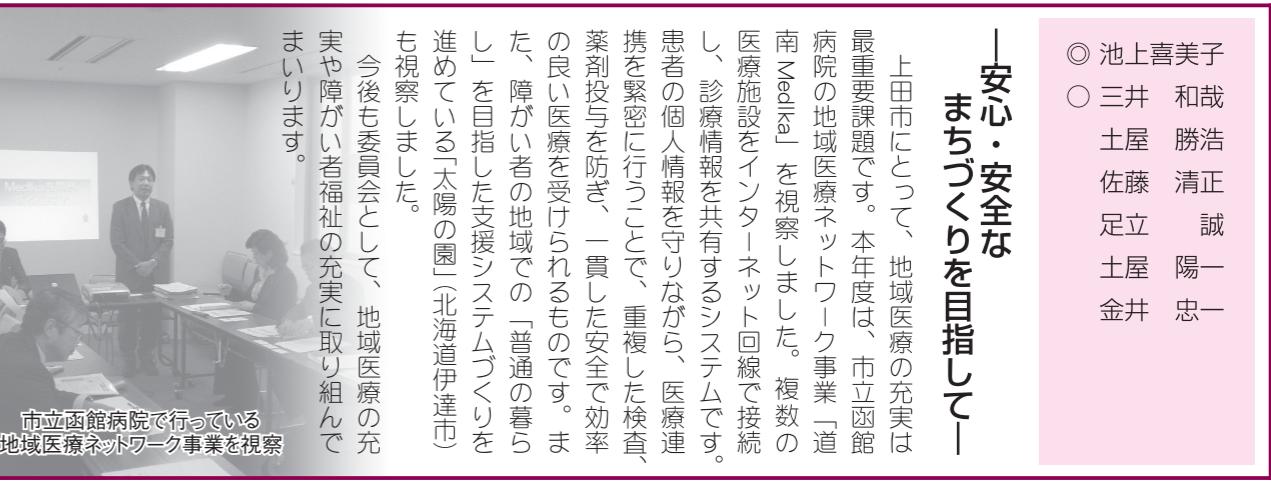
委員会としては、医療関係各団体と順次懇談会を行う計画であり、これまで休日歯科救急センターの設置に向けた課題などについて上田小県歯科医師会と第1回目の懇談を行いました。

◎ 金井 忠一
○ 安藤 友博
○ 土屋 勝浩
○ 小坂井二郎
○ 小林三喜雄
○ 佐藤 清正
○ 池上喜美子
○ 足立 誠
○ 内堀 勝年

安心・安全な

- ◎ 池上喜美子
 - 三井 和哉
 - 土屋 勝浩
 - 佐藤 清正
 - 足立 誠
 - 土屋 陽一
 - 金井 忠一

上田市にとって、地域医療の充実は最重要課題です。本年度は、市立函館病院の地域医療ネットワーク事業「道南Medical」を視察しました。複数の医療施設をインターネット回線で接続し、診療情報を共有するシステムです。患者の個人情報を守りながら、医療連携を緊密に行うことで、重複した検査薬剤投与を防ぎ、一貫した安全で効率の良い医療を受けられるものです。また、障がい者の地域での「普通の暮らし」を目指した支援システムづくりを進めている「太陽の園」(北海道伊達市)も視察しました。



厚生委員会

—災害の教訓に学ぶ—

- ◎ 深井 武文
 - 小林三喜雄
土屋 孝雄
古市 順子
松山賢太郎
児玉 将男
清水 俊治
堀 善三郎

地域活性化の進行と深しがれいかあるとされ、経験したことのない大量の雨が突然的、局地的に襲う豪雨は「ゲリラ豪雨」とも呼ばれ近年は全国で発生し、人命を奪い甚大な被害をもたらす災害が増加しています。上田市においても8月に豪雨が発生し大きなダメージを残しました。

防災及び災害時における道路等の復旧対策は主として当委員会の所管事項であり、今年度の行政視察では兵庫県佐用町の水害経験を活かした災害に強いまちづくりについて研修し、災害復旧対策や復興対策など多くのことを学びました。今後も市民の命と安心の確保二回目を取り組みを強めてまいります。

